

<http://www.palcoop.or.jp>

被災地に届けたい！ わたしたちの思い

～パルコープにみんなの力をよせて～



子どもスタッフも
手作りの募金箱を
持って

阿倍野チャリティイベント 4月9日 阿倍野組合員会館

「被災地を応援することを何かしたいね」の呼びかけに、阿倍野組合員会館を会場に「被災者のためにお役にたたい有志一同、の組合員さんが、持ち寄りイベントを行いました。コンサート「わくわく音楽隊」やチケット販売方式でのバザー・ゲーム・手作り工作・食べ物各種など、備品や材料も全て、スタッフが持ち寄って準備や運営をしました。

「わくわく音楽隊」の大東楽器の先生方も「被災地のために何かしたいと思っていたので、今日は参加できて嬉しい。みんなで歌って東北にまで元気を届けましょう！」と、楽しいステージを繰り広げました。子どもスタッフもゲームや販売、募金のお願いを元気にかわいく手伝いました。

チケット販売や当日の募金などで集まったチャリティ金額は25万5960円。全額をパルコープで募集している「東日本大震災救援募金」とさせていただきます。



「わくわく音楽隊」によるコンサート

仁和寺まつり

3月26日 仁和寺組合員集会室

例年好評の仁和寺まつり。震災直後なので自粛して開催中止も考えましたが、「大阪の私たちは組合員活動を行い、収益を寄付することで被災地への支援をしていこう」と話し合っ、開催を決めました。小雪まじりの中、仁和寺集会室の内外に子どもさんを含む地域の組合員さん99名が集まり、産直果物の販売やゲームも行なって楽しく過ごしました。中には栃木県から避難してこられている方も。参加された方からは「初めて来たけど、子どもも楽しそうでした。良かった。地震の募金もできて良かった」などの感想がありました。収益金と募金あわせて全額の2万4000円をパルコープでの募金に加えしました。(寝屋川西地域活長・永田さん)



「支援物資のぬいぐるみが大人気。子どもに必要なのは笑顔なんです」(4/9北枚方支所・松嶋)



石巻市でも浸水がひどい東松島に行き、現地担当者の方と一緒に組合員さん宅を訪問。安否確認をかねて、支援物資を届けました。一生懸命掃除をされているところでしたが、笑顔で応えていただきました。みなさんの前向きな姿と笑顔にホッとしましたが、中には1カ月たった今でもまだ手付かずで声もかけられないくらい途方にくれている方もおられました。今回支援に行かせていただき、少しでもお役に立てたことを嬉しく思います。ありがとうございました。(大東支所・森田理士)

おおさかパルコープは

被災されたみやぎ生協・コープふくしま・いわて生協を支えています

パルコープ職員みやぎ生協へ11名派遣
(4/3~4/9)
共同購入再開支援

パルコープ共済チーム職員
コープふくしま・いわて生協へ順次派遣
(4/11~5/9)
共済加入者訪問支援

4月6日、本日は同乗させていただきました。女性配送の渡辺さんという方ですが、「こんな時こそ笑顔で！」と言葉通り笑顔で元気良く配送されています。組合員さんは年配の方が多いですが、みなさん本当に前向きに生活されています。ご主人を亡くされた組合員さんが「夜、一人になると泣きたくなくなるけど、ご近所さんが毎日よくしてくれるし、渡辺さんが元気になるの！」とおっしゃっていました。班を離れる時に抱き合って「お互いがんばろう！」と励まし合っている姿を見て、とても心打たれました。「今は大変だけど、組合員さんが元気になるの！がんばらなくちゃ！」、渡辺さんの言葉です。

(平野支所・稲田恵二)

支援の様子を
担当者ニュースでも
報告しました
(南寝屋川支所・安田)



福島県・郡山市の共済加入者宅を一軒ずつ訪問、住宅や家財災害見舞金の損害認定手続きを行いました。

訪問活動を行う中で、「生協に加入していて本当に良かった。共済に加入していて本当に良かった」というありがたい声をたくさんいただきました。単に物資や見舞金を配るという事ではなく、組合員さん一人ひとりの安否確認や震災時の状況、不安や相談事についても聞かせていただきました。組合員さんは多くの事を話してくださいました。心を通わせるように、一人ひとりの組合員さんの思いに寄り添う活動を行っている生協・共済で良かったと実感しました。生協で働いている事を誇りに感じました。(共同購入本部共済・山本啓司)

共済についての問合せは
コープ共済センター ☎0120-299-130
(月~金9:00~18:00 土9:00~17:00)